



令和6年度沖縄県児童生徒等表彰式

沖 縄県教育委員会は平成9年度から毎年、教育・文化、スポーツ活動等における顕著な成績や、他の模範となった児童生徒・団体を、その荣誉や活動をたたえ、本県教育の一層の振興・充実を図ることを目的として沖縄県教育委員会教育長から表彰を行っています。



今年度は、2月7日(金)に県庁講堂で表彰式が行われ、57件の個人と団体の中から、本校からは、教育・文化活動部門で、全国高校生アマチュアバンド選手権「TEENS ROCK IN HITACHINAKA」文部科学大臣賞のクロムレイリーの新里桃花さん(与那原中)、小橋川深結さん(兼城中)、知念陽香さん(浦添中)が、スポーツ文化活動部門で2024男子U18アジア選手権大会4位の崎山陽生さん(西原東中)が、半嶺満教育長から表彰を受けました。

日々の授業はもちろん、各種活動にも全力投球している本校生徒が表彰されたことをとても嬉しく、誇りに思いました。素晴らしい首里高生!

令和7年度高校入試が始まりました

今後3月4日(火)・5日(水)両日の学力検査と面接を経て、3月18日(火)に合格発表となります。頑張れ受験生!

2月12日(水)には、染織デザイン科特色選抜の実技検査があり、志願者は真剣な面持ちで、課題のデッサンに取り組んでいました。

通科360名の入学定員のうち、特色選抜に染織デザイン科16名、普通科100名の出願があり、一般選抜に染織デザイン科49名、普通科408名の最終出願がありました。



令 和7年度県立高等学校入学者選抜の出願が行われました。県立高校の入学試験制度が本年度から変わり、これまでの推薦入試に代わって、生徒が主体的な学びに向かう力の育成と、基礎学力の確かな定着などを目的に「特色選抜」が導入されました。

首里高校では、染織デザイン科40名、普通科360名の入学定員のうち、特色選抜に染織デザイン科16名、普通科100名の出願があり、一般選抜に染織デザイン科49名、普通科408名の最終出願がありました。

産業医講話が行われました



沖縄県医師会会長として多忙な中、母校の職員のために貴重な講話をなさっていただいた田名先生に心よりお礼申し上げます。

本 校の卒業生で、首里城下町クリニック院長の田名毅先生による産業医講話が、1月30日(木)に行われました。

「皆様の大切な職員を守るために」をテーマに、死亡原因の上位を占める血管病予防や救命措置について、そして今年度の職業性ストレス分析レポートなど、限られた時間をテンポよく分かりやすくお話いただきました。

特にストレッチは、自分のストレスに気づくことと、集団分析やメンタルヘルス不調者への対応など、重要な目的があります。分析の結果、本校は同僚や上司の支援により、働きがいがあり満足度の高い傾向ですが、仕事の負担度は心身ともに高いことから、引き続き職場環境の改善が必要なことが分かりました。

ダンスフェスティバル連覇



1月26日(日)に沖縄市民会館で令和6年度沖縄県学校ダンスフェスティバルが開催され、首里高校が昨年に引き続き創作ダンス部門において最優秀賞に選ばれ、見事連覇を成し遂げました。

今回のテーマは『届かないこゑ』～そのクジラは孤独を泳ぐ～で、他のクジラとコミュニケーションをとることができない52Hzのクジラの孤独や寂しさ、それでも生きていくしかないという想いを、美しい海の情景と孤独なクジラの悲痛な叫びの演技に込めたとのこと。

9月から試行錯誤しながら、部員全員で作品を創り上げ、本番では集中して演技に臨み、会場いっぱいの観客から拍手をもらうことができたとのこと。受賞を受け、来年8月に開催される「第37回全日本公高校・大学ダンスフェスティバル神戸大会」へ推薦、派遣される予定です。